

| |
|------------------|
| 留 学 報 告 書 |
|------------------|

記入日:2019年6月2日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 国際日本学部国際日本学科 |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: アイオワ大学 現地言語: University of Iowa |
| 留学期間 | 2018年8月～2019年5月 |
| 留学した時の学年 | 2年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 1年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | School of Liberal Arts <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2019年5月14日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2021年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 33334人 |
| 創立年 | 1847年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (ドル) | 円 | 備考 |
|-----------|-------------|-----------------|----------------------|
| 授業料 | 0 | 0円 | |
| 宿舍費 | 4000 | 400,000円 | 二人部屋での値段です |
| 食費 | 1000 | 100,000円 | |
| 図書費 | 0 | 0円 | |
| 学用品費 | 200 | 20,000円 | 教科書はレンタル可 返却時 |
| 教養娯楽費 | 50 | 5,000円 | 一部プログラム参加費 |
| 被服費 | 1800 | 180,000円 | アイオワ州は寒いのでぶ厚めのコートが必要 |
| 医療費 | 0 | 0円 | |
| 保険費 | 0 | 0円 | 形態:未加入 (明治大学の保険の未加入) |
| 渡航旅費 | 2600 | 260,000円 | 往復券(株式会社 MTS) |
| 雑費 | 0 | 0円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | 9650 | 965,000円 | |

渡航関連

渡航経路: 成田→デトロイト→シカゴ→シーダーラピッツ

渡航費用

チケットの種類 _____
 往路 _____
 復路 _____
 合計 262,010 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

株式会社 MTS (留学先が同じだった同級生の親戚が働いていたので取ってもらいました)
 配布資料に出発時刻や到着地の記入ミスが相次いでいたのでおすすめしません。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮 (Mayflower Hall)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

出発前に大学のサイトで登録します。いくつかの生活習慣に関する質問に答えることで似た習慣を持ったルームメイトと住むことができます。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学があるアイオワシティは本当に何もありません。車がないとどこにも遊びに行けないので休日予定がない日が続くと結構きついです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

学内での問題に関しては学生一人一人にアドバイザーがついてくれるのでその人に相談してました。勉強がキツイなどといった質問にも丁寧に対応してくれます。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険情報等は電話および、大学のメールに情報が送られてきます。ルームメイトが学生証とルームキーの盗難に遭ったので寮の事務員等に相談してました。最終的には鍵と学生証の再発行で解決しました

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

自分のノートパソコンと SIM フリーの携帯を持って行きました。Softbank のアメリカ放題を利用しようと考えていたのですが、アイオワ州は Softbank の電波が繋がらない地域だったので現地で SIM カードを発行しました。インターネット自体は寮やキャンパス内では電波が安定しており、不便に感じたことはありません。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使っていました。しかし、学費・寮費の支払いは現地の銀行の口座からの引き落とししかできないので Hills Bank という銀行で口座を開きました。その口座に親にお金を振り込んでもらい、寮費等を支払ってました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

冬はとにかく寒いです。分厚めのコートとユニクロのヒートテック、ホッカイロを多めに持っていくことをお勧めします。また、シカゴ州が車で行ける距離にあるので免許を持っている人は国際免許を発行しておくといいと思います。休日にレンタカーなどで遊びに行けます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

| |
|---|
| 1) 進路 |
| <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他:進級 |
| 2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など |
| 3年の秋学期から復学のため、そのまま進級。 |
| 3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。 |
| 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|--|--|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 3単位 | <input checked="" type="checkbox"/> 3単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Living Religion of the East | 東洋宗教学 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Aug, 2018 ~ Dec, 2018 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義とディベート(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に50分が2回 |
| 担当教授 | Aihua Zheng |
| 授業内容 | 東アジア地域の宗教における歴史と概要をレクチャーしディベートの授業でそれについて自分の考えを発表する |
| 試験・課題など | レポート2つ、中間試験、期末試験 |
| 感想を自由記入 | あまり評価を厳しくつけられることはなかったです。 |

| | |
|----------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| ESL Academic Writing | ESL アカデミック ライティング |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Aug, 2018 ~ Dec, 2018 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー (チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Erik Filean |
| 授業内容 | 学術的なレポートの書き方や参考文献の書き方を学びました |
| 試験・課題など | レポート4つ、中間試験、期末試験 |
| 感想を自由記入 | ESL は受けるか受けないかは自由です。僕はライティングに自信がなかったので履修しました。 |

| | |
|----------------------|------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| The World Since 1945 | 戦後史 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Aug, 2018 ~ Dec, 2018 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Joe Butterfield |
| 授業内容 | 主に戦後の世界の流れについての授業です。 |
| 試験・課題など | 中間・期末テスト、ブッククイズ、ブックレポート、レポート |
| 感想を自由記入 | 専攻が決まっている3、4年生が多く授業もかなり専門的です |

| | |
|--|--------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Introduction to International Relation | 国際関係学入門 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Aug, 2018 ~ Dec, 2018 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に50分が3回 |
| 担当教授 | Elizabeth Menninga |
| 授業内容 | 国際関係の基礎的な授業です |
| 試験・課題など | レポート、中間、期末テスト |
| 感想を自由記入 | 興味があった学問でしたが、かなり難易度の高い授業でした |

| | |
|---------------------|--------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Globalization | 国際関係学 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Jan, 2019 ~ May, 2019 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Yu Wang |
| 授業内容 | 主にグローバル化が世界経済にどのような影響を与えたかについて |
| 試験・課題など | 中間、期末テスト、レポート |
| 感想を自由記入 | 経済に関する知識がなかったので理解するのに苦労しました。 |

| | |
|---------------------|--------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Japan-US Relations | 日米関係史 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Jan, 2019 ~ May, 2019 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー (チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | David Tucker |
| 授業内容 | 日米関係の歴史について(ペリー来航から現在まで) |
| 試験・課題など | 中間、期末テスト、レポート(4,000 字) |
| 感想を自由記入 | かなり興味深かったです。オススメの授業です |

| | |
|------------------------------|---------------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Japanese Society and Culture | 日本の文化と社会 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Jan, 2019 ~ May, 2019 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | レクチャー(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | Scott Schnell |
| 授業内容 | 日本の文化と社会構造について |
| 試験・課題など | レポート、中間、期末テスト |
| 感想を自由記入 | 自国の文化を違う視点からみる面白さがありました。かなり親日家の教授でした。 |

| | |
|-----------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Human Rights Advocacy | 人権擁護 |
| 科目設置学部・研究科 | School of Liberal Arts |
| 履修期間 | Jan, 2019 ~ May, 2019 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | ゲストによるレクチャー、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Amy Weismann |
| 授業内容 | 主に世界で起きている人権侵害問題や実際に人権擁護団体に所属している人を招いてレクチャーしていました。 |
| 試験・課題など | グループワーク、レポート、期末テスト |
| 感想を自由記入 | 初めてのグループワークでした。みんな優しくしてくれて助かりました。 |



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

| | |
|----------------|--------------------------------|
| 2017年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | |
| 8月～9月 | Toefl iBT 受験・スコアが出る |
| 10月～12月 | 協定留学出願・合格通知が来る |
| 2018年 1月～3月 | 入学許可証が届く・Visa 申請と面接（1、2週間後に取得） |
| 4月～7月 | 留学の手続き開始（主に寮） |
| 8月～9月 | 出発 オリエンテーション、授業選択、中間テスト |
| 10月～12月 | 期末テスト、冬休み |
| 2019年 1月～3月 | 冬休み、授業選択 |
| 4月～7月 | 中間テスト、期末テスト、帰国 |
| 8月～9月 | 秋学期から復学 |
| 10月～12月 | |

留学体験記

| | |
|---------------------------|--|
| 留学しようと思った理由 | 留学しようと思った理由は、より学生が自主的に意見を述べ、考えをぶつけ合い、切磋琢磨し合う環境でより専門的な勉強をしたいと思ったからです。両親も海外の大学を卒業していたので後押ししてくれました。 |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | 自分の考えを英語で伝える練習をもっとしておけばよかったと思っています。授業の進行が早いので自分の考えをすらすら言えないとどンドン次に行ってしまうので慣れるまで苦しかったです。 |
| この留学先を選んだ理由 | 出願条件が比較的高かったので大学のレベル自体も高いのではと考えてました。第二志望でしたが、アイオワ大学でよかったと思います。 |
| 大学・学生の雰囲気 | アイオワ大学のキャンパスと街が一体であるという印象です。キャンパスは広く、バス移動ができ、東側のキャンパスには大学付属病院もあります。学生は基本的には平日は勉学に勤しみ、休日はかなり派手にパーティーをしていました。治安は市の警察と大学の警察が協力体制を敷いてる割にはあまりいいとは言えなかったと思います。 |
| 寮の雰囲気 | 僕が住んでいた Mayflower Residence Hall はキャンパスから離れており、少し古めです。部屋も全体的には暗く、照明を別途で買う必要があります。他の寮とは異なり、食堂がない代わりにキッチンがあります。 |
| 交友関係 | ルームメイトがアイオワに来る前からの友達を紹介してくれて、そこから交友関係を広げていきました。授業では教授の話を理解するのに必死であり友達を作るという感じではなかったです。アイオワ最終日に友達からサプライズでプレゼントをもらった時は本当に嬉しかったです。 |
| 困ったこと、大変だったこと | アイオワ大学自体差別撤廃を掲げ、そういった事例には厳しく対処する方針をとっていますが、やはりどこかしらに白人至上主義的な考えは存在しています。正確な情報を与えず、ESL を受講させ、学費を多めに請求したりなど、現地の学生じゃないということを理由に理不尽な不利益を被ることもあります。 |
| 学習内容・勉強について | 私は主に国際関係学と歴史学の授業を取っていました。両授業とも予習で課される読書量が多く計画的にこなさないとかなりきついです。もちろんやった分だけ知識は得られるのでかなり詳しくなることはできます。教科書は教授によっては全く使わないこともあるので教科書は中古品をレンタルする形がいいと思います。また、土日の2日のみ行われる Team Building という実技系の授業があり、単位換算される可能性は低いですが多くの学生と交流できます。 |
| 課題・試験について | 課題は授業によって様々です。個人的には 4000 字のレポートを書いたのはこの先の人生の中でもいい経験になったのではないかと思います。また、レポートに行き詰まったときにはアドバイスをくれる学内アルバイト生や TA さんなどが充実しておりすごい助けになります。試験は基本的には論述形式のものが多く、ただの暗記以上に授業の内容を理解していないといい点数は取れません。 |

| | |
|------------|---|
| 大学外の活動について | 思いの外留学生用の交流イベントの情報が入ってこない印象でした。私は休日はキャンパスのジムに行って体を動かしたりサウナで汗を流したりリフレッシュしました。また友達が中国人学生会に入っていたので彼が主催のイベントにはたくさん誘ってもらいました。しっかりとスポンサーがついたりする大規模なイベントです。 |
| 留学を志す人へ | 留学先では何もかもが日本と違います。だからこそ日本と比較せず、違いに対しても大らかに振舞っている方がいいと思います。時折それがストレスに感じる場合もあります。その際は溜め込まず他の日本人の学生に相談したりするといいと思います。僕が留学したときには意地張って日本人とは交流しないようにする人もいましたが、結局のところ何かあった際の助け合いは日本人同士の方がスムーズに解決できるのではないかと考えます。 |

一週間のスケジュール(例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 午前中 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 起床 | 起床 |
| | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 食事 | 食事 |
| 午後 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 予習・復習 | 予習・復習 |
| | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | スポーツ観戦 | 友達と遊ぶ |
| 夕刻 | 予習・復習 | 予習・復習 | 予習・復習 | 予習・復習 | 予習・復習 | サッカー | サッカー |
| 夜 | 夕食・就寝 | 夕食・就寝 | 夕食・就寝 | 夕食・就寝 | サッカー | 夕食・就寝 | 夕食・就寝 |